

清光学園

よりよた

第 21 号

児童養護施設 清光学園
 園長 佐々木 賢三
 岩手県花巻市石鳥谷町
 北寺林十一一六八―六五
 電話番号
 〇一九八・四五・五一七三
 発行日
 平成二十五年三月二十三日



節分行事で鬼は外、福は内



園長

佐々木 賢三

昨年の四月から清光学園に勤務している園長の佐々木賢三と申します。学園の活気あふれる雰囲気と園児の笑顔に力を得て、やりがいのある日々を過ごしています。

一年間勤務してみて、世の中には、善意の方々が沢山おられることを知りました。子ども達を励まそうとクリスマス会を開いて下さった団体、子ども達に「食べさせて下さい」とお菓子や野菜、米などを届けてくれた住民、「何かのお役に立てて下さい」と寄付金を送ってくれた事業所など、県内外の皆様から、多数の有り難いご支援を頂きました。園児・職員一同、大いに勇気つけられています。

さて、今、社会的養護の一環として、全国的に施設の小規模化が進行しています。学園

でも、現在の五十人定員の大舎制から小規模化に向けた取り組みが始まろうとしています。概要は、新棟を改築して、二つのユニット（生活空間）を作り、ユニット毎にリビング兼食堂、児童居室（原則個室）、職員宿直室、トイレ、キッチン、風呂場等を配置し、六人八人の児童が共同生活を送るものです。利点として、児童居室が個室のため、プライバシーが保障されること、児童数が六人八人と少ないため集団生活によるストレスが少なく、一般家庭に近い生活が送れること等があげられます。

現在の学園本体は大舎制のため、児童居室には三〜四人が雑居し、風呂場も洗面所も四十三名が共同で使用しています。それに比べれば、小規模施設は格段に恵まれた夢のような環境と言えます。施設の子ども達が快適に過ごせるよう、実現に向けた取り組みが一日も早く始まることを願っています。

清光学園は、「子どもの最善の利益のために」という社会的養護の基本理念を体し、園児の幸せのために一層の努力を重ねて参りたいと思っておりますので、関係の皆様方のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

今年度より五名の子ども達が石鳥谷野球スポーツ少年団に入団して活躍しています。

以前から少年団の存在を知り、「やってみたい」という声も子ども達からあがっており、保護者の方から活動状況などの情報を頂きながら入団についての検討を重ね、子ども達の意欲を尊重し、今年度から入団することとなりました。

平日週一回のナイター練習に加え、夏場は土日でも試合や練習があり、冬場も体育館での基礎トレーニングや体力作りを行っています。子ども達の「野球が大好き！」という言葉通り、練習や試合のある日は早起きをしたり、自



分てユニフォームに着替えたり等「自分たちでしっかりと準備をする」という気持ちが育ってきています。

練習では大きな声を出してボールを受けたり、バッティング練習やキャッチボールをしたり、仲間と声を掛け合い、励まし合いながらさわやかな汗を流しています。



少年で巨人・中日戦を観戦しました

地域の皆さんに受け入れてもらい、有意義なスポーツ活動が出来ていることに心から感謝いたします。

平成二十四年度の球技大会において、当学園小学生ソフトボールチームが二度の優勝に輝きました。

国立岩手山青年の家で行われた大船渡市長杯球技大会と岩手県立大学で行われたBBS球技大会でした。どちらの大会でも見事な連携で勝利を納めることが出来ました。

優勝に至るまでの道のりは決して平坦



なものではなく、メンバーみんなの頑張りがあったこと言うまでも

ありません。学校から帰ってきたら宿題を終わ



らせ、すぐさま園庭に出てチャックボールやノック練習を行う日々が続きました。子ども達が主体的かつ、意欲的に取り組むことが出来たことがこのような結果につながりました。今後とも温かいご声援をよろしく願います。



春

春の行楽

行事で残

雪の八幡平

へ行ってき

ました。四月下旬な
のに一面の銀世界
と寒さにみんな驚
いて来ました。

朝食は八幡平リ
ゾートホテルでの
おいしいバイキン
グを頂き、思い思
いのご馳走をおな
いっばい存分に食
べ、温かい八幡平
温泉にも入り癒さ
れてきました。

例年、春は花巻温
泉にお花見に行き
ました。今回は趣
向を変え、楽しい思
い出を作る事が出
来ました



四月一

日は学

園恒例

の創立

立日記

念日

です。

みんな

で体育館

に集まり

創立記念式典を行いま

すが、子ども達の関心

事はその後の「ホーム

編成」の発表です。

園長からホーム発表

がありませんが、「一年

間、どこの居室になる

のか、誰と一緒に部屋

になるのか：「どの

職員の担当になるのか

：「ワクワク、ドキド

キの瞬間です。

発表後の一斉の居室

移動。沢山の荷物

が廊下を片付けなが

ら、自室を片付けなが

ら、自室を片付けなが

ら、自室を片付けなが

ら、自室を片付けなが

ら、自室を片付けなが



が、今回はみんな揃って行
きました。

大型バスに乗り、高速道

を北に向けて向かった先は

まず「青森県立三沢航空科

学館！」。目の前の三沢空港

から飛び立つ飛行機にまず

感動。そして科学館に展示

してある飛行機に更に感

動。様々な展示物や体験出

来る乗り物などに興味津々

で時間が経つのも忘れ見学

に夢中になりました。

その日の宿泊先は星野リ

ゾート青森屋。各担当毎に

客室に入りのんびりと過ご

したり、温泉を満喫した

り：。学園の仲間と温

泉旅館に泊まるのは

今回が初めて、と

いう子が殆どであ

今年夏の夏の
一大行事は何
と言っても、
「青森一泊旅
行」です。
昨年までは
各グループ毎
に分かれて行
って行きました

夏

残ったよ

うでした。

翌日は

車窓に

種差海岸を見

ながら、更にそ

の先の白浜海

岸へ。海の水が

少し冷たいな

がらも海水浴

を楽しみ、美し

い白浜に子ども

も達の歓声があ

元気に響いて

おりました。



青森屋での夕食。カラオケも楽しみました

年度事 これ

清光学園には「児童会」という組織があります。学園内の子ども達で組織しているものであり、子ども達の中から会長や副会長、書記が選任され、その役員を中心に児童会活動をしています。

清光児童会 再起動

毎月の生活目標を定めたり、生活の振り返りをしたり、生活していく上での改善点や要望などが出され、職員からの連絡事項が伝えられる。…、今までの児童会はこのような流れでした。が、しかし、今年度の児童会活動は今までは一味違います。学園の生活の主体は子ども達であり、その子ども達で組織する児童会を活性化させることが、子ども達が学園生活をより主体的に捉えるきっかけになるのではないかと考え、より子ども達が直接児童会活動に関わる機会を増やせるようにとそれぞれ「部」を作りました。職員が自分の得意な分野、興味ある分野、子ども達に与えて見たい分野などを考えて部を作り、子ども達が希望により入部するというスタイルです。ここで「部」を紹介します。

- ① 値段調査部 (スーパーなどで物品の値段を調べます)
 - ② ゴミ部 (ゴミの分別やゴミの処理を行います)
 - ③ 人命救助部 (いざというときに役立つ応急法などを学びます)
 - ④ 公共料金調べ部 (学園の光熱水費を調べて掲示します)
 - ⑤ 自然お楽しみ部 (観望会など自然に触れあう活動をします)
 - ⑥ ブック整理部 (図書の整理などを行います)
 - ⑦ 心の静養部 (日常の雑多な生活から離れ心の安定を目指します)
 - ⑧ 家電修理部 (壊れた家電の修理を試みます)
 - ⑨ 節電節水部 (節電節水を呼びかけ節約を促します)
 - ⑩ 簡単クッキングサークル (簡単にできる料理を作ってみます)
- 今後、更に活発な活動が期待されます。

平成二十三年度より小規模グループホーム「明光園」を開設しています。

本園より徒歩3分程の同じ地域内の一軒家を借りることが出来、町内会や子ども会の所属も変わることなく、地域の皆さんのご支援を頂きながら順調なスタートを切ることが出来ました。

現在、小学生三名、中学生一名、高校生二名が



小規模グループホーム 明光園

職員と共に生活しております。

一軒家での少人数生活ということで、限りなく一般の家庭生活に近い暮らしが出来よう意識して日々の暮らしを送っています。大きな行事等は本園と合同で行っていますが、その他はグループホーム独自で様々な行事などを企画・実施しています。

朝食の準備をしている音で目覚め、間近で調理をしている様子を見たり、配膳や掃除を手伝ったり…、そんな一般家庭のごく普通の流れを体験する中で子ども達の生活力を養い、自立に向けた手厚い支援をしていきたいと思っております。



ハートファミリーズ様

ハートアライズ様からはいつもたくさんのご支援を頂いています。

今年は子どもたちが学習をしたり、テレビを見たりする「自習室」で使えるようにと、木製の長いすを寄付して下さいました。

前回は食堂に全員分の木製の丸イスをいただき、快適に使わせて頂いています。

今回の長いす贈呈にあたり、当学園クリスマス会の場で子どもたちを紹介をしようと言ったことになり、三名の方名の方に園に来て頂き、一緒にクリ



スマス行事を楽しんで頂きました。子どもたちの出し物に加え、ハートアライズ様の「ソールン」も披露して頂き、大盛り上がりの中サンタ登場となりました。メンバーの石川様にはいつも学園に足を運んで頂

子どもたちのことを気にかけて頂いておられます。石川様はじめメンバーの方に心より感謝申し

ありがとう

温かいご支援に感謝!!



NTTDコモ東北支社様より今年も多額のご支援を頂きました。盛岡支店副支長高倉裕行様が来園され、当学園佐々木園長に目録を贈呈しました。

子どもたちのために有効に使える物を、と言うことで、今までは中学生や高校生が通学などで使用する自転車等を購入させて頂いております。

子どもたちが必要としている物はたくさんありますが、今年も検討させていただきながら、有効に活用させて頂きたいと思っております。NTTDコモ様からは毎年のようにご寄付を頂いております。ありがとうございます。

大の陽さん

今年のクリスマスにとっても大きなクリスマスツリーを届けて頂きました。神戸から遙か遠い岩手の地まで来て頂き、子どもたちと一緒に一飾り付けまでして頂きました。学園にいらして頂いたのはメリツリープロジェクトの三名の方です。飾り付けの作業をしながらたくさん子どもたちと触れあって頂き、色々なことを教えていただくことが出来ま

した。神戸もやはり大きな地震での災害を経験した街であり、一人ひとりの助け合いの大切さ、人の心の温もりが子ども達にも伝わったのではないのでしょうか。



震災のあった年、メッセージと共にヒマワリの種が学園に届きました。鹿児島県にある児童養護施設、大隅学舎の皆さんが摘んだヒマワリの種でした。

今年の夏、背丈をはるかに超えた大輪が陽を浴びています。送っていただいた「絆ひまわり」がすくすく成長するように、子どもたちも元気に過ごしています。遠く岩手の地にエールを送っていたいただいた大隅学舎の皆さん、ありがとうございます。

まごころ

ありがとうございます
たくさんのご寄付

平成二十四年度に頂きました沢山の
ご寄付、ご慰問、ご招待を紹介致します。

皆様の温かいご支援に
心より感謝申し上げます。

ご寄付

菅原幸子様(花巻市)、マルハン北上店様、鈴木康子様(東京都)、高橋様(花巻市石鳥谷町)、小原誠子様(北上市)、(株)ファンライフ様、手塚プロダクション様、藤原玲子様(花巻市大迫町)、小田島節子様(花巻市東和町)、シャントイ国際ボランティア会様、高橋洋子様(矢巾町)、加藤佐知子様、佐々木様(花巻市大迫町)、鎌田眞智子様(花巻市)、高橋千枝子様(花巻市大迫町)、白石食品様、キッズドリームパートナー様、佐藤様(花巻市石鳥谷町)、高橋正克様(花巻市大迫町)、ハートアライズ様、小坂直樹様(石川県)、大沼由佳様(宮城県)、松本史代様(栃木

県)、島辰様、高橋シヨウイチ様、伊藤様(花巻市)、三宅加奈子様(岡山県)、大隅学舎様(鹿児島県)、疋田晶子様(紫波町)、K1プロジェクト様、山本篤雅様(栃木県)、照井恵美様・鎌田清子様、岩瀬哲也様(名古屋)、(株)ユニクロ様、仲良しサークル様(福岡県)、ワールドメイト様、国吉文子様(花巻市石鳥谷町)、キャロル上峰店様(佐賀県)、日本鏡餅組合様、(株)安田様、堀田様(神奈川県)、七折農園様、毎日新聞様、NTTドコモ様、熊澤清子様(千葉県)、齊藤恵里奈様(花巻市)、齊藤正七郎様(群馬県)、高橋愛弓様

他に匿名の方より多数のご寄付を頂きました。又、当学園花火大会など行事の折などに関係者、業者の皆様より多大なご支援を頂きました。誠にありがとうございました。

ご招待・ご慰問

焼肉ヤマト様・やまなかや北上市店様・村山崇様、石鳥谷ライオンズクラブ様・イオン盛岡南ショッピングセンター様・メリーツリープロジェクト様



ゆり Lily 百合

ユリ目ユリ科のうち主としてユリ属の多年草の総称。北半球アジアを中心として広く分布。森林や草原に自生することが多い。日本では秋植への球根草として扱われる。食用としてユリ根が用いられ、薬用としては球根が滋養強壮や鎮咳に用いられる。

当学園の児童居室には草花や樹木の名前がついており、実物子ども達が目にする様に植えていきます。順次ご紹介します。

編集後記

震災から二年が経とうとしており、子ども達の記憶の中から少しずつあの時の経験が薄れつつあると感じます。停電の中、みんなが寄り集まって就寝したこと、みんなが協力し合い暖をとるための薪を切ったこと、食べ物も残食なく、少しの物を大切に食べたこと、等々。しかし、大雪が降った朝、力を合わせて除雪の手伝いをしてくる姿、行事などみんなが力を合わせて何かを成し遂げようとする場面で子ども達のパワーと連携の強さを感じます。あの時の経験で育まれた絆の心はお互いを思いやる気持ち、助け合う気持ちという形で子どもたちの心に残っているのではないかと思います。